平成29年度　自然保護委員総会を終えて

自然保護委員長
栗木洋明

平成30年2月20日、愛知県スポーツセンターにおいて、平成29年度自然保護委員総会が行われた。当日は愛知県山岳連盟の安藤会長をはじめ、22名の自然保護指導員のうち14名が出席。安藤会長より挨拶をいただいた後、報告事項として、昨年9月9日・10日に石川県白山市の白峰で行われた自然保護委員全国大会について、様子や感想などを報告した。全国30の都府県の自然保護担当者が参加し、日山協の役員や地元石川県の山岳協会の方々、総勢約100名が参加した盛大な会で、今後の愛知県の自然保護活動について考えさせられる会であった。続いて、11月12日に犬山市の八曽自然休養林で行われた第40回の自然観察会と清掃登山について報告をした。当日は快晴の天候に恵まれ、8団体38名が参加。ゴミ袋を手に、八曽休養林の自然観察を3時間半にわたって行った後、昼食を兼ねた懇親会では、鍋あり、焼肉ありで、最後には山の歌を10曲以上熱唱するという楽しい会であった。

次に、審議事項として、平成30年度の春・秋の自然保護活動について話し合った。春の活動は、5月の12～13日に岐阜県高山市の国立乗鞍青少年交流の家周辺で山菜の収穫をした後、山菜の観察・調理を行い、親睦会で山菜をいただくこと。また、自然保護活動に情熱を傾けてみえる岐阜県出身の小野木三郎先生を迎え、「飛騨の自然と自然保護について」をテーマにした講演と、「現地周辺の自然観察会」を予定している計画を提案し、承認された。秋の活動は、9月29日に瀬戸市にある、あいち海上の森センターにおいて、講師に木村修司先生を迎え、海上の森を散策しながら「キノコの現地観察会」を実施する計画を提案し、こちらも承認された。

今年度は、自然保護指導員23名のうち11名が5年ごとの更新年に当たっており、人数の減少が心配されたが高齢の2名は辞退されたものの、9名が更新。さらに1名の新規加入者があり、30年度は22名でのスタートとなった。今後は、愛知県山岳連盟の加入団体から1名ずつの自然保護委員を選出していただき、更に裾野を広げていきたいという思いを参加者全員で確認し合って会を閉じた。